



NPO 法人 プレゼントガーデントゥー

Present Garden to



◆発行：NPO 法人 Present Garden to
〒655-0043 神戸市垂水区南多聞台 1-5-11
TEL：078-785-1516 FAX：078-785-1539
E-mail：present-g@hi-net.zaq.ne.jp
HP：http://www.present-g.com
◆代表者：理事長 高野 喜恵



理事長 高野喜恵

毎年 10 月に行われる、しあわせの村「こうべ福祉・健康フェア」が今年台風で中止になりました。それも早朝暗い空の下でしあわせの村へと出発した直後のことでした。各方面への連絡を終えて落ち着いた時、ふとこのイベントの軌跡を思い返しました。

プレゼント・ガーデンが始まった 1997 年の 6 月、しあわせの緑地運営課の課長様が来訪され「園芸療法の実践報告を出してほしい」とのこと。まだ P G 自体が始まって二カ月、何をどうして良いものやら…。それから一ヶ月程して園芸活動とメンバーの反応を書いて持参したところ「これをパネルにしましょう」と 6 枚もの大きなパネルにさせていただきフェアで展示することとなりました。

それから 17 年、毎年しぼり出すような活動報告のアイデアが、今ではパネル 30 枚近くの実践報告として存在します。

初めはメンバーと保護者ボランティア 10 数名から始まり、今では 5 部門ー



- ① ピオラの小苗プレゼント
- ② 園芸療法ワークショップ
- ③ 竹の工作ワークショップ
- ④ 授産品販売
- ⑤ アンクルン演奏



に分かれて 40 余名が一日休む暇もなく活動します。

もちろんメンバーも全員それぞれの役割に取り組んで、今や多くの方々に喜んでいただく一大イベントとなりました。

その準備たるや、7 月からしあわせの村の担当者と打ち合わせを重ね、8 月下旬にピオラ等の種を蒔き、また太い孟宗竹を伐り出して竹鉢を作ったりと、たくさん時間を費やします。

一年の実践報告をするということだけでなく、その場で作業をするための道のり自体も園芸療法となっているのです。初めはお客様に私ですら声をかけるのが恥ずかしかったのに今やメンバーが大きな声で、「プレゼントします！育ててください！」。



一年にたった一日のことなのですが、17 年間の小さな積み重ねはメンバーの成長と重なり、それが表現される一つの場になっているのかもしれませんが。プレゼント・ガーデンが年々成長しながら社会に認められてたくさんの実を結んでいることを実感し胸が熱くなりました。多くの方々に感謝して。



感謝



アンクルン・アンサンブルの指揮者をしていただいている石川先生から新しい電子ピアノをご寄付いただきました。弾いた曲がデータとして録音できたりと色々なことができるようになり、練習に演奏会にと大活躍です。また一歩アンクルンオーケストラの可能性を広げていただいたことに深く感謝いたします。



PGボランティアグループ「楽花生」代表
大西 秀代



阪神淡路大震災の数年後、まだ気持ちの余裕の無い時、近くの公園の桜見学でもして気持ちを前向きにと思っていました。歩いている途中に春の花々が咲き乱れ奥にはログハウス。何て素敵な庭、良い道楽だなーと。でも水やりや花ガラ摘みにと管理が大変なんてヒガミ？

それから運命とも言える導きによって、仕事で週2回この道を通る事になり、本当に癒される空間になりました。そこがメンバーの通う作業所だと解ったのは数か月後でした。

始めは看板が無く偶然作業中に会う事があり、挨拶から始まりました。今では心身共にすっかり虜になり、押し花のボランティアやアングルンと言う楽器にも出会い、花と音楽の2本の柱が出来ました。次々とボランティア仲間も増え、今では20名を超える大所帯に。

そして今年度、神戸市福祉大会にて感謝状まで頂きました。これからも素敵な出会いが続きますように願っています。



感謝 アンクルン昼食会 地見辰夫・房子ボランティア

出会いはPGの始まりが新聞に掲載されたのを見て、園芸療法のボランティアとして来訪されたことでした。私の方がまだ何をどうして良いのか分からない時期で、かえって私の知らない園芸の分野を教えてくださいました。

驚くほど繊細な地見さんの園芸部門はメンバーには難しく、いつしか調理師としての地見さんにアンクルン昼食会を始め、様々なイベントでいつも美味しい食事を作ってくださいました。

地見さんが大病をなさり、一年以上休まれました折も、回復されるとまた続けてくださいました。この7月に「もう引退するわ」とおっしゃられて本当に残念でしたが、体調のこともありお受けする他ありませんでした。長い間本当にありがとうございました。でも園芸に関してはまだまだお手伝いができるよと嬉しいお言葉を頂いています。深く感謝を込めて。高野喜恵



私の息子は近所ではちょっとした有名人のようです。「帽子をとって、大きな声で挨拶をしてくれる」、「遠くからでも手を振ってくれる」とか、「龍君の歩いている姿を見ると頑張ろうと思うよ」など多くの方の声が。「お母さんの躰がいいからですね」などと言われると、照れくさいですが、息子のことを気にかけて貰っている感じがします。挨拶はPGで身に付いたことの一つでもあります、嬉しくなります。



PG保護者 鈴木 加代子

息子は病気の後遺症のため、会話をすることが難しく、意味不明なことを繰り返して言っています。イライラした時は、つつい黙らせてしまいましたが息子の一瞬、寂しそうになる顔を見ると、分からなくても少しは耳を傾けないと反省しつつ、話を合わせています。色々と課題がある息子ですが、多くの方に支えられて、毎日楽しく過ごせることに感謝しています。



